



徳永 豊 議員

《一般質問》

問 保育園民営化の成果と検証

答 民営化は一定の成功

【こども未来課長】 保育サービスの質は町立時代より職員数も多く配置され年齢、経験バランスにも配慮され問題はない。児童数も減少することなく、楽しみに、のびのびと健やかに過ごしている。保育内容も町立保育園時と遜色なく、保育環境も保護者の要望に応え、修理や雨天の際の送迎ポート建設など民間ならではのスピード感を持った対応がなされている。

特別保育についても障がい児保育、一時保育、延長保育が継続して行われており、2歳未満児の受け入れも拡大が図られるなど、利用者のニーズに対応した運営が図られている。

民営化により生じた専門職の人材を活用し『地域子育て支援センター』を開設、保育園に通っていない乳児から就学前までの全児童家庭を対象とした子育て支援の拠点として整備、次代の親となる小中学生との交流等により、なお一層の子育てしやすい環境整備に取り組んでいる。民営化は一定の成功を収めたと考えている。



大莞保育園でのもちつきの様子



国営幹線水路農地防災事業

問 「複式簿記が有する検証機能」を果たす点から貸借対照表の流動資産部

項目別金額	
教育部門	41億6243万円
生活インフラ・国土保全	44億2378万8千円
環境衛生部門	12億6593万2千円
福祉部門	13億5280万5千円
消防部門	8845万円
総務部門	18億8776万2千円
産業振興部門	21億9660万3千円

問 財務4表中貸借対照表公共資産の項目別内訳は。

【企画調整課長】 貸借対照表中の歳計現金と資金収支計算書中の期末歳計現金残高の一致、行政コスト計算書と純資産変動計算書の純計上行政コストの一致などが確認できるように次回から各項目の内容が分かる形で公表することとしたい。

問 町有クリークの面積と評価額は。

【企画調整課長】 面積については、国有水路で0.19km²で県営水路は町所有扱いとなり総面積2.35km²が町有水路になる。評価については、総務省が示した「総務省方式改訂モデル」を採用し、昭和44年度以降の「地方財政状況調査」に計上された水路整備事業等の普通建設事業費を減価償却して資産計上することとしており、水路そのものの資産価値は調査しておらず、評価額も算出していません。

今回の指摘を踏まえつつ、町民にわかりやすい形で公表できるように、改善していきたい。

中島 宗昭 議員

《一般質問》



問 6次産業化支援を問う

答 重要な課題と認識している

問 六次産業化法施行後、本町においても手厚く支援されていると思うが、今までにどのような品目でのくらいの個人、グループ、団体等が支援を受けられたのか。また、現在、支援を希望されているのか。

【産業振興課長】 国の計画認定を受けた取り組みとして、イチジクを活用した食用酢、キノコを使用した総菜商品の2件、県の支援を受けた取り組みとして、エノキダケの新商品の開発やサラダ用キノコの開発の2件、町としても菜種栽培のための機器整備やジャム等の製造作業場の整備など3件の補助を実施、本年度も4件ほど見込まれている。

問 JA、商工会等への活動推進は的確になされているのか。特に、農商連携の中での推進は重要だと思

【産業振興課長】 既にJA福岡大城がイチジクの加工の取り組みで計画認定を受けている。

問 大溝保育園の民営化については、条件が整

【町長】 民営化は基本方針だが、直ちに民営化は適当でない。大莞保育園の民営化の検証、公立保育園が果たす役割、機能の評価などを勘案し、条件が整い次第民営化を進めることを踏まえ将来的には民営化を図っていくことが基本方針である。しかし、(一)子育て支援の一層の充実が求められる中、町が自ら保育園の運営を行うことは、現場の実情的な確な把握や新規施策の実証を行う上で一定のメリットがあると考えられる。

(二)現状では「地域子育て支援センター」以外には専門職の人材の大きな受け皿が想定されない等から直ちに大溝保育園の民営化に着手することは適当でない。

問 六次産業化推進は、地域経済の活性化のため重要である。更に推進するには加工グループ等の育成が大切だがその対策は。

【産業振興課長】 個人よりも複数のメンバーによるグループでの取り組みが望ましい。本町には、これまでも農産加工に取り組んでこられた女性グループも活動されており、こうしたグループに開発のための助言を行う。また、加工教室の開催等を通じ、新たな人材の掘り起こしやグループの育成も行っていきたい。

※1 六次産業化：農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態



好評の「くるっちセット」



開発された加工品

6次産業の取り組み事例

商品名	現在の販売状況	商品名	現在の販売状況
果肉入りあまおう酢	約200本/年 約200千円/年	環のかおり	900本/年
あまおうフィリング	1,084個、85万円/2010.6~2011.5	きのご飯の素	2,500個/年
いちご(あまおう)のジャム	596個、55万円/2010.11~2011.7	パスタソース(3種類) (トマトソース・味噌風味ソース・醤油ベースのピリ辛味ソース)	240個/年
あまおうエンザイムキャンディー (ドライあまおう)	84個/2011.4、58,800円/2011	焼きエリンギ	250個/年
美酢あまおう	1万本、680万円/平成22年度実績	まっしやん佃煮(3種類) (シメジ・エリンギ・ユキレイ茸の佃煮)	1,440個/年
美酢とよみつひめ	平成23年度開発、平成24年度販売(初年度目標3,000本)	しめじゴボゴブ	200個/年